

武甲山山行報告

【山行日】2019年 5月 2(木) 曇り後晴れ

【集 合】岩舟支所P AM 5:00

【費 用】マイカー2台 : 1600円

【メンバー】CL:鈴木ユ、安西、大西、大庭、
菊池、清水、関、並木、福島、藤原

【コースタイム】岩舟支所 P5:00=一の鳥居P

6:50/7:10~登山道入口 7:40~大杉の広場

8:30/8:40~武甲山 9:10/9:40~シラジクボ 10:10

~小持山 10:55/11:10~大持山 11:50~分岐

12:00/12:40~妻坂峠 13:35~一の鳥居P

14:10/14:20=道の駅「かわもと」16:20/16:35=岩舟支所 P17:45

今年のGWは10連休となり、高速道が渋滞するので近場の山を選び、武甲山~大持山を計画した。この時季、一の鳥居の登山口駐車場は混雑するので、5時に岩舟支所を出発したが駐車場は



満車になっていた。仕方なく路肩の空きスペースに車を止め、出発の準備を整えたら駐車場に行きストレッチを行って出発する。生川沿いの林道を進み、釣り場のある生川集落を過ぎ、左に持山寺への道を左に分けると登山道入り口に着く。小休止し衣服調整と水分を補給し、ここから山道を登るようになる。杉林の中を登り、ペットボトルが積み上がる水場を過ぎ大きく右に巻くように登って行く。杉林の道を九十九折れに登り、傾斜が緩くなると杉の大木が立つ大杉の広場に

着く。広場には手作りのベンチがあり、大休止してイチゴや菓子を食べエネルギーを補給する。

大杉の前で記念写真を撮ったら出発し、杉木立の中の広い尾根道を登って行く。丁目石を数えながら登り、右の斜面が明るい自然林になると頂上は近い。50丁目の石まで来るとトイレの屋根が見え、右にわずかに登ると神社前のトイレに着く。

大勢の登山者が休憩しており、我々もザックを降ろしてトイレを済ませる。トイレを済ませたら御嶽神社に参拝し、順路の標識に従って山頂へ向かう。ほんのひと登りで山頂標識が立つ第一展望所に着く。山頂からの展望は広大で、秩父の山々や秩父市街が一望の下だが、富士山や北アルプスは雲が多く見ることが出来なかった。風があつて少し寒いので、記念写真を撮ったら下山し下の休憩舎に移動し大休止する。ここは風も当らず暖かく、トマトや菓子を食べながら疲れた体を休めた。



ここから南の尾根を下り、小持山から大持山を目指す。新緑とコバイケイソウの若葉が目には優しい。



シラジクボまで大きく下り、ここからは辛い急登が続くが、新緑が疲れを癒してくれる。途中振り返ると武甲山がピラミダルな姿で聳え、反対側の痛々しい姿とは違いとても立派に見える。

小持山が近づくとアカヤシオの花が、登山道の両側に見られるようになる。アカヤシオの花を見ながら高度を上げ、急坂を登り切ると小持山山頂に出る。山頂はアカヤシオの花が満開で、皆さんウワ～綺麗と大満足。花を見ながらデコポンをいただき、振り返ると武甲山が遠くに見える。ここからの下りは露岩の急な下りで、慎重に下っ

て行く。少し先のナイフリッジの岩場で A 西さんが立ち往生し、スタンスを指示して何とかクリアした。鞍部まで下ると再び登りになり、大持山手前のピークまで登り切ると緩やかに尾根を進み大持山頂上に着く。頂上はあまり展望が無く、記念写真を撮ったら展望の良い大持山分岐まで行きランチタイムとする。分岐には丸太のベンチがあり、南側に大展望が広がる絶好の休憩場所だ。早速うどんを作り天ぷらを載せ、出汁巻き卵と漬物等を景色を楽しみながらいただいた。ランチが済んだら東の尾根を下り、妻坂峠へ向かって降りて行く。土囊で補修された滑りやすい急坂の登山道で、滑らないよう慎重に下って行く。緩やかなアップダウンを繰り返して高度を下げ妻坂峠に着く。大きな標識が立つ峠は十字路になっており、直進すると武川岳、右に降りると名郷へ下る。我々は左に下り生



川に向かって下る。新緑の斜面を九十九折れに下って行き、沢を渡ると沢沿いに下るようになる。途中林道を横切って直進し、さらに山道を下ると林道に出て、左に進むと生川の登山口駐車場に着く。トイレを済ませ、靴を履き替えたらずに車に乗り帰路につく。国道299号線に出ると、羊山公園の芝桜観光の車で渋滞し中々進まない。途中から県道11号線に入り、県道82号線から皆野を目指したが地図が無いのでそのまま直進し、定峰峠越えの山岳ドライブとなってしまった。狭い九十九折れの山道

運転し、後ろの車のドライバーは大変だったようだ。それでも寄居町に出られ、距離も往路より短縮できたようだ。途中、道の駅「かわもと」に寄り、トイレと買い物を済ませ、予定より少し遅れて岩舟支所に帰着した。